

Visitor Infomation
香川県立ミュージアムご利用案内

- 開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
※特別展開催中は、夜間開館(20:00まで開館、入館は19:30まで)を行う場合があります。詳しくは「ミュージアム年間カレンダー」をご覧ください。
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日)、12/21～1/1 資料整理・展示替え作業・設備改修による臨時休館(7/24～26、8/1～5、10/24～29、11/25～27、12/8～10、1/19～2/20)
※特別展開催中は、月曜日が開館となる場合があります。
- 観覧料 【常設展】(歴史展示室・常設展示室) 一般 410円、一般団体(20人以上) 330円
6/1から 一般 500円、一般団体(20人以上) 400円
【特別展】 展覧会により異なります。
※特別展観覧券で常設展がご覧いただけます。
※高校生以下の方、県内在住の65歳以上の方、障害者手帳・特定医療費(指定難病)受給者証・小児慢性特定疾病医療費受給者証等の提示者とその介護者の方は無料(当館受付にて証明するものをご提示ください)
○5/18(日)「国際博物館の日」は観覧料が無料になります。
○お得なミュージアムパスポートあります。
一般 3,130円/観覧料無料対象の方 1,040円
6/1から 一般 3,750円/観覧料無料対象の方 1,250円
※有効期間中(1年間)は歴史展示室と常設展示室を何回でもご覧いただけます。
※当館が主催する特別展は、会期ごとに1回ご覧いただけます。
(本人2回目以降半額、同伴者1人半額)
※当館の旬な情報をお届けします。
- 交通案内 JR高松駅から東へ900m
ことでん高松築港駅から東へ800m
ことでん片原町駅から北へ500m
ことでんバス「県民ホール前」から南へ200m
◎岡山・愛媛・高知方面から…高松自動車道高松西ICより車で約30分
◎徳島方面から…高松自動車道高松中央ICより車で約25分
◎高松空港から…JR高松駅までリムジンバスで35分
地下駐車場(普通乗用車50台、高さ制限2m以下)
東側平面駐車場(大型バス3台駐車可能、事前申込必要)
利用時間/9:00～22:00(原則開館日のみ) 利用料/25分ごとに100円
※近くに香川県玉藻町駐車場(有料)があります。
- 駐車場

香川県立ミュージアム 各種プログラム

知的好奇心をそそる、おとなから子どもまでのさまざまなプログラムをご用意しています。

- 講演会、講座 歴史、民俗、美術にわたるさまざまなテーマからお話します。
- ミュージアムトーク 職員が資料や作品を前にしながら、展示の見どころについて解説します。
- ワークショップ 香川の伝統工芸やアートなどの制作にチャレンジ!! おとな向け、子ども向けのメニューがあります。
- 特別展などでの各種イベント 見るだけでなく、聞いて、つくって、展覧会がさらに楽しめます。
- ボランティアによるトークや解説、ワークショップ 当館ボランティアが歴史や美術の鑑賞をサポートします。ボランティアが企画するワークショップもあります。

最新情報は、当館ウェブサイトやSNS、広報誌「NEWS」、チラシなどでご案内します。

●ミュージアムショップ&カフェ

ミュージアムショップでは、オリジナルグッズや特別展テーマにあわせた限定グッズを取り揃えています。そして、鑑賞の後はカフェでゆったりとしたひとときを。ご来館の思い出をお楽しみ下さい。



ミュージアムショップ カフェポット ミュゼ

Seto Inland Sea Folk History Museum

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

瀬戸内地域の人のびとのくらしや文化を知る
瀬戸内海を一望できる五色台の山上にあり、石積みの外観など地域の風土を意欲した建築は「日本建築学会賞」を受賞したほか、令和6年12月に国の重要文化財に指定されました。収蔵資料のうち約6,000点が国の重要有形民俗文化財に指定されており、常設展示室では木造船や漁撈用具、船大工道具をはじめ、産業に関わる道具、祭礼用具など瀬戸内のくらしを伝える民俗資料を展示しています。



瀬戸内海歴史民俗資料館

瀬戸内ギャラリー企画展

伝統と創造Ⅱ 職人の道具
Tradition and Creation II Artisans' Tools

3/15(土) ▶ 5/25(日)
使込まれた職人の道具には、長い年月をかけて受け継がれてきた伝統の技や、新たな需要に応えようとする職人たちの創意工夫が詰め込まれています。本展では、農具や焼印、和傘など香川のくらしを支えてきたさまざまなモノの製作道具を集め、地域の歴史と風土の中で培われてきた職人たちの手仕事の世界を紹介します。



和傘職人の道具

家終い ーのこされたモノが語る家族・地域の記憶ー
Disposed Houses Stories of Families and Communities Told by Articles Left Behind

7/5(土) ▶ 8/31(日)
近年、「終活」や親の高齢化等によって実家の土地建物や生活財を処分する「家終い(いえじまい)」が増加しており、当館へもそれに伴う寄贈照会が増えてきています。のこされたさまざまな生活財から、「家や地域の資料」、「社会や時代の資料」として何を抽出・選択し、資料化しているのか、近年の「家終い」に伴う資料収集の状況を紹介いたします。



空家とのこされたモノたち

重要文化財指定記念事業 ーデザインで生活を豊かにするー 新民芸の創出
A Project to Commemorate the Designation of Important Cultural Properties Enriching Daily Lives with Designs Creation of New Folk Art

9/13(土) ▶ 11/9(日)
*やまほーの展示との連携企画
当館が開館した頃、香川のデザイン運動も多方面に展開していました。本展では、民俗資料館の視点から、古民芸や海外の生活用品に学び、香川の風土に根ざした素材、技術をいかして取り組まれた新民芸創出の活動を紹介します。また、伝統的なくらしや道具の転換点とも重なる万博前後の大きな変化のなか、デザインで生活を豊かにしようとした取り組みに注目します。



新民芸創出の舞台となった県商工奨励館

「たくさん集める」からわかることⅡ ー生活用具に記された文字記録ー
A Large Collections That Leads to Discoveries II Written Records on Daily Tools

2026.1/10(土) ▶ 2/23(月・祝)
身近な生活の道具には、いつ、どこでそれが作られたのかわからないものが数多くあります。その中で、文字記録のある生活用具は、製作者や製作時期、経緯などを知る重要な手掛かりとなります。当館はもともと県内の資料館などに収蔵されたさまざまな生活用具の中から年号などの文字記録が記された資料を一堂に集め、モノと文字が織りなす香川のくらしのモノ語を探ります。



桶の底に記された農具

伝統と創造Ⅲ 張子虎
Tradition and Creation III Papier-mache Tigers

2026.3/14(土) ▶
香川では西讃地域を中心に、端午の節供(5月5日)や八朔(旧暦8月1日)に男の子の健やかな成長を祈る縁起物として張子虎などを飾る風習があります。当館が実施した調査成果に基づき、過去や現在の製品、製作用具のほか、製作工程なども展示し、社会の変化に応じながら現代に息づく伝統の技や職人の姿を紹介します。



昭和時代頃の工房風景

Kagawa Prefectural Cultural Hall
分館 香川県文化会館

文化芸術に親しみ、和む
県民ギャラリーのほか、芸能ホール、和室などの施設を備え、各種展覧会、音楽、舞踊、茶会などの文化活動の場として広くご利用いただけます。



- 開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日)、年末年始(12/29～1/3)、展示室清掃・資料整理による臨時休館(9/2～12、12/16～28、2/25～3/8)
無料 ※団体等でのご利用の場合、希望があれば展示解説します(要予約)。
- 観覧料 JR高松駅から車で約25分・JR坂出駅から車で約30分
◎徳島方面から…高松自動車道徳島ICより車で約30分
◎岡山方面から…瀬戸中央自動車道坂出北ICより車で約30分
◎愛媛・高知方面から…高松自動車道坂出ICより車で約35分
いずれも県道高松王越坂出線の大崎ノ鼻経由
- 交通案内 普通乗用車30台、大型バス可(無料)

〒761-8001 香川県高松市電水町1412-2
TEL.087-881-4707 FAX.087-881-4784



https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setoekishi/

- 利用時間 県民ギャラリー 9:00～17:00
(金曜日は19:30まで)
芸能ホール・和室 9:00～22:00
◎利用のご予約を受け付けています。
お電話でお問い合わせください。
- 休館日 年末年始(12/29～1/3)
- 交通案内 JR高松駅から南へ1.2km
ことでん瓦町駅から西へ1km
- 駐車場 香川県番町地下駐車場(有料)
高松市立中央駐車場(有料)など
近隣の駐車場

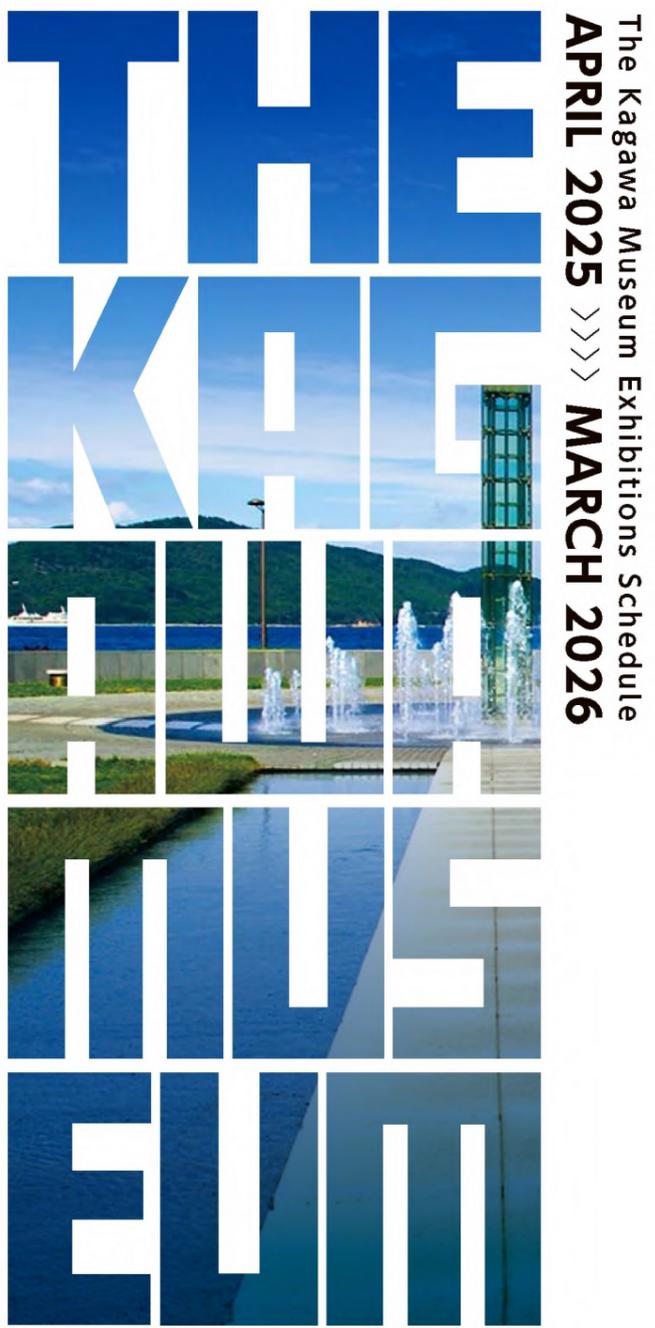
〒760-0017 香川県高松市番町1-10-39
TEL.087-831-1806 FAX.087-831-1807




THE KAGAWA MUSEUM
香川県立ミュージアム
〒760-0030 香川県高松市玉藻町5番5号
TEL.087-822-0002(代表) FAX.087-822-0043
https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/




	2025 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2026 1	2	3		
歴史展示室	かがわ今昔													
常設展示室 1	高松松平家歴史資料													
常設展示室 2	～4/13 お籠様と道具たち	4/22～6/1 特別展連携企画 御座船「飛龍丸」	6/6～7/13 掌の美 ー茶道具を中心に	臨時休館 8/1～8/31 臨時休館 9/2～9/12				7/19～8/31 夏休み子ども ミュージアム 夏だ旅に出よう!	9/5～10/19 栗林荘を歩く	10/30～12/20 芝居がスキ!	11/5～1/18 アート・コレクション カラフル	1/2～1/18 日本伝統工芸展 運搬企画 冷静と熱熱の工芸	2/21～ 2/21～ 2/21～	かがわ今昔 高松松平家歴史資料 書の世界 ー宸翰を中心にー アート・コレクション モンクルーム 弘法大師空海の生涯と事績
常設展示室 3	弘法大師空海の生涯と事績													
常設展示室 4・5	～4/13 小林高喜 一節に学び、歩んだ道	4/22～6/1 高松城 ー海にのぞむ城のものがたりー	6/6～7/23 昭和の香川 ー人びとの暮らしとまちの変化	臨時休館 8/1～8/31 臨時休館 9/2～9/12				8/6～11/3 アート・コレクション ワールドツアー	弘法大師空海の生涯と事績	11/5～1/18 アート・コレクション カラフル	弘法大師空海の生涯と事績	1/2～1/18 第72回 日本伝統工芸展	2/21～ 2/21～ 2/21～	かがわ今昔 高松松平家歴史資料 書の世界 ー宸翰を中心にー アート・コレクション モンクルーム 弘法大師空海の生涯と事績
特別展示室	第89回香川県美術展覧会 1期[絵画・立体] 11/15～11/24 2期[工芸・写真] 11/28～12/7 3期[書] 12/11～12/20													
瀬戸内海歴史民俗資料館	～5/25 瀬戸内ギャラリー企画展													
	7/5～8/31 家終い ーのこされたモノが語る家族・地域の記憶ー													
	9/13～11/9 重要文化財指定記念事業 ーデザインで生活を豊かにするー 新民芸の創出													
	11/25～27、 12/8～10は休館													
	休館 (12/16～1/3)													
	1/10～2/23 「たくさん集める」からわかることⅡ ー生活用具に記された文字記録ー													
	3/14～ 伝統と創造Ⅲ 張子虎													



香川県立ミュージアム
●年間スケジュール●

The Kagawa Museum Exhibitions Schedule
APRIL 2025 >>>> MARCH 2026

特別展 ● 瀬戸内国際芸術祭2025

Setouchi Triennale 2025

瀬戸内国際芸術祭2025パスポート提示で団体料金となります(芸術祭会期中のみ1回限り)

特別展示室+常設展示室4・5【連携企画】常設展示室1・2

高松城 一海にのぞむ城のものがたり

Takamatsu Castle -The story of the castle facing Seto Inland Sea

4/22(火) ▶ 6/1(日)

●夜間開館あり 毎週土曜日(5/31をのぞく)、5/5
◎一般:1,200円 前売・団体:1,000円

今からおよそ430年前に高松に建った、海をのぞむ城・高松城。人やモノが行き交う重要な瀬戸内海とともにあゆんできた城は、時代の流れの中で、その姿や役割を変化させてきました。そして現在、城跡は史跡に指定されるとともに、玉藻公園として親しまれています。高松城がつむいできたものがたりを、初公開となる生駒家文書、県内外から集めた120件あまりの絵図や記録、古写真など、さまざまな資料から紹介します。



香川県指定有形文化財 高松城下図屏風(部分) 当館蔵



松平頼常書状写 大和郡山市蔵



高松市指定有形文化財 高松城天守鯨 高松市歴史資料館蔵

特別展示室

「瀬戸内美術館連携」プロジェクト 小沢剛の讃岐七不思議

"Setouchi Art Museum Link" Project Tsuyoshi Ozawa The Seven Wonders of Sanuki

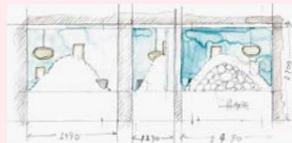
8/9(土) ▶ 10/13(月・祝)

●夜間開館あり(8/9、10、11、16、23、30、10/4、11、12、13)
◎一般:1,200円 前売・団体:1,000円

小沢剛は、純粋芸術とそれ以外のものの境界に関心を寄せ、歴史や社会にユーモアと批評精神を交えて様々な問いを投げかける作品で国内外で広く評価されています。当館が収蔵する香川の歴史・美術・民俗に関する膨大な資料や情報などから独自の視点でモノ・コトに着目し、それらから触発され生み出した作品や実物の資料を組み合わせた展示を構想しています。子どもと大人、過去と現在など異なる視点が交差する作品世界は、モノ作りの技術や収蔵・陳列について、あるいは世界の見方や自然科学、死生観などについての考察と讃岐の歴史文化との新たな出会いを誘発します。



ヨベッサン(瀬戸内海歴史民俗資料館蔵)



小沢剛による展示構想ドローイング

特別展示室+常設展示室4・5ほか

第89回 香川県美術展覧会(県展)

The 89th Kagawa Prefectural Art Exhibition

1期(絵画・立体) : 11/15(土) ▶ 11/24(月・休)

2期(工芸・写真) : 11/28(金) ▶ 12/7(日)

3期(書) : 12/11(木) ▶ 12/20(土)

◎一般:750円 前売・団体:600円

□会期中無休



第88回香川県美術展覧会会場風景

香川県美術展覧会は公募による美術展覧会です。現代の美術シーンは多様な表現にあふれています。第89回展では、絵画・立体・工芸・書・写真の5部門で作品を募集します。また、会期中に第2回若手作家支援プロジェクト作品展示も開催します。ジャンルにとらわれない新たなチャレンジをお待ちしています。

常設展示室4・5

ベトナム現代美術展「アンダー・ザ・スキン」

Vietnamese Contemporary Art Exhibition "Under the Skin"

主催:瀬戸内国際芸術祭実行委員会 共催:香川県立ミュージアム

8/6(水) ▶ 8/31(日)

●夜間開館あり(8/9、10、11、16、23、30)

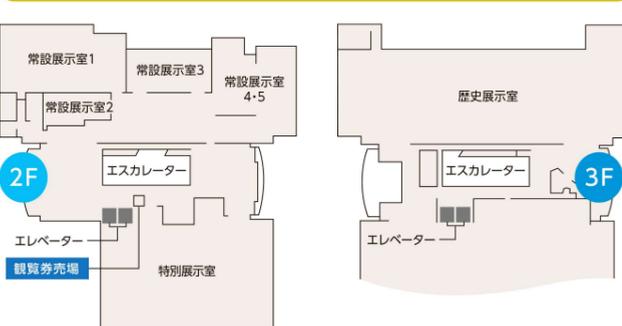
◎観覧料:500円(瀬戸内国際芸術祭2025パスポート提示で無料)

1986年のドイモイ(開放)政策後に生まれた、戦争や貧しさを知らない新世代のアーティストたちの表現を通して、現代ベトナム社会を映し出します。キュレーター:レトゥアン・ウーエン



展覧会イメージ ©キュレーター

フロアガイド



常設展

常設展示室1

高松松平家歴史資料コーナー ★

Historical Materials of the Takamatsu Matsudaira Family

江戸時代、高松12万石を治めた大名高松松平家。国宝や重要文化財をはじめ、大名・華族の暮らしや文化を物語るさまざまな歴史資料を紹介します。



展示室内観

お雛様と道具たち

The Hina Dolls and Their Various Accessories

2/4(火) ▶ 4/13(日)

雛道具は婚礼調度を模したものです。高松松平家に伝来した雛人形・雛道具とともに、実際の硯箱や化粧道具などを紹介します。

特別展連携企画 御座船「飛龍丸」

Collaborative Project with the Special Exhibition "A Boat Reserved for Loads"

4/22(火) ▶ 6/1(日)

大名の乗る御座船は、周囲に権力を示すように、武具を積み、金を用いて豪華に飾られた「海上の城」ともいえるものでした。特別展連携企画として、県指定有形民俗文化財「高松藩飛龍丸船明細切絵図」8点を一挙公開。



香川県指定有形民俗文化財 高松藩飛龍丸船明細切絵図 絵巻図

掌の美 一茶道具を中心に

Palm-Size Tools, Focusing on Tea Utensils

6/6(金) ▶ 7/13(日)

掌に載るほどの大きさの、美しき茶道具を紹介します。江戸時代、高松松平家の御用塗師-玉椿家谷の「堆黒松ヶ浦香合」をはじめ、現役陶芸家として活躍する鈴木藏の「志野茶碗」などを展示します。



鈴木藏「志野茶碗」

夏休み子どもミュージアム 夏だ！旅に出よう！

Museum for Children on Summer Vacation "It's Summer! Let's Go on a Trip!"

7/19(土) ▶ 8/31(日)

人びとは旅で何を見たのか。旅に何を持って行ったのか。そして、旅で何を感じたのか。収蔵品の中から主に昭和時代の「旅」にまつわる写真や道具、冊子などを紹介します。



宇高航路60周年記念 連絡船用グリーン券

栗林公園開園150年記念 栗林荘を歩く

The 150th Anniversary of the Opening of Ritsurin Garden "Strolling in Ritsurin Garden"

9/5(金) ▶ 10/19(日)

江戸時代、高松藩の国元の大名庭園であった栗林荘。明治時代になると栗林公園として開園し、今年で150年を迎えます。大名庭園の時代に形成され、今なお国内外の人びとをひきつける庭園の魅力を、庭園図や当時の文書から紹介します。



栗林図

芝居がスキ！

We Love Theater!

10/30(木) ▶ 12/20(土)

香川県には、現存最古の芝居小屋である旧金毘羅大芝居「金丸座」(重要文化財)がありますが、かつては県内各地で芝居(歌舞伎)は身近なものでした。金毘羅大芝居や丸亀などの芝居番付、東讃の地芝居道具、農村歌舞伎のほか、琴平出身の歌舞伎役者である中村福円(1865~1921)の足跡について紹介します。



象頭山金毘羅全図(部分)

日本伝統工芸展連携企画 冷静と情熱の工芸

Collaborative Project with the Japan Traditional Kogei Exhibition "Kogei of Tranquility and Passion"

2026.1/2(金) ▶ 1/18(日)

素材や造形の魅力がふんだんに備わる工芸。用の美を求めたり、あるいは用を超えた造形を求めたりと工芸の創造は拡大しています。漆工や金工などの工芸から多様な角度で美が追究された作品を紹介します。



音丸耕堂「菊水指」

書の世界 一宸翰を中心に

The World of Calligraphy - Highlighting Works of Emperors

2026.2/21(土) ▶

天皇が自筆で記した書を宸翰と言います。高松松平家に伝来した南北朝から江戸時代の天皇9代の宸翰を中心に、収蔵品から書の名品を紹介します。格調高く個性的な宸翰の世界をお楽しみください。



重要文化財 紙本墨書花園天皇宸翰御消息

常設展示室2

アート・コレクション Art Collection

生誕120年記念 イサム・ノグチ V「ひとがた」

On the 120th Anniversary of the Birth of Isamu Noguchi V. Human Figures

3/11(火) ▶ 4/13(日)

世界的に活躍した彫刻家イサム・ノグチ(1904~1988)のコレクションから「ORIGAMI」・「AKARI」・「庭」・「ひとがた」の連続テーマで紹介した最終章。「ひとがた」では具象から抽象までさまざまな姿を紹介します。



ラジオ・ナース

特別展連携企画 ニッポンの城

Collaborative Project with the Special Exhibition "Japanese Castles"

4/15(火) ▶ 6/1(日)

紙版画家 井上貞男(1932~2022)の作品「日本の城シリーズ」から四国をはじめ、各地の城を紹介します。井上は紙版画という独自の技法を生み出しました。紙版画のモノクロームと細やかな線描が生み出す威風堂々とした城の姿をお楽しみください。



井上貞男「日本の城 宇和島城」

昭和100年記念 昭和の記憶と美術

On the Centennial of the Showa Era(1926-1989) "Memories and Art of the Showa Era"

6/3(火) ▶ 7/23(水)

戦後、日本は世界に開かれ、社会が大きく変容しました。美術も社会の潮流から大きな刺激を受け、新しい表現が誕生します。戦後昭和の日本や香川美術を紹介し、当時の記憶を呼び覚まします。



前田常作「絵日記 9月のマンダラ」

ワールドツアー

World Tour

8/6(水) ▶ 11/3(月・祝)

世界には多くの国があり、地域や国によって景色や風習などが大きく異なります。日常で目にする景色と違う異国の風景は、時に私たちを魅了します。作家たちも異国に惹かれ、その情景を作品にしました。作品を通して世界を旅してみませんか?



柏原寛太郎「トレド風景」

カラフル

Colorful

11/5(水) ▶ 2026.1/18(日)

赤・緑・青・黄……、周りにはさまざまな色があふれています。色はそれぞれ異なる意味やイメージを持ち、組み合わせによって見え方が変わるため、作品を作るうえで重要な要素です。色彩に満ちた作品を紹介します。



重田良一「黄と青のひろがり」

モノクローム

Monochrome

2026.2/21(土) ▶

単一の色、特に黒と白を基調としたモノクロームは、限られた色でありながら多様なイメージを想起させます。限られた色による表現の工夫や、モノクロならではの作品を紹介し、色を超えた表現の可能性を探ります。



泥谷文景「雲龍」

常設展示室3 空海室

弘法大師空海の生涯と事績 ★

The Life and Achievements of Kobo Daishi Kukai

日本の歴史や文化に大きな影響を与えた、香川の偉人・空海。京都東寺の灌頂院をモデルにしたつづら展示空間で、中世に描かれた絵巻の流れにそって、空海の生涯のさまざまな出来事をわかりやすくたどります。



展示室内観

常設展示室4・5

アート・コレクション 小林萬吾 一師に学び、歩んだ道

Art Collection Kobayashi Mango - Learning from His Master and the Path He Walked

2/4(火) ▶ 4/13(日)

小林萬吾(1868-1947)は、「日本洋画の父」黒田清輝の画塾・天真道場や白馬会で学び、後に中央画壇で活躍しました。当館収蔵作品とともに県内で所有される作品を一堂にご覧いただき、その画業を振り返ります。

昭和100年記念 昭和の香川 一人びとの暮らしとまちの変化

On the Centennial of the Showa Era(1926-1989) "Kagawa in the Showa Era - Changes in Towns and Citizen's Daily Lives"

6/6(金) ▶ 7/23(水)

2025年は昭和100年の節目の年に当たります。64年にわたって続いた昭和は、政治や文化、技術などあらゆる側面で大きな変化を経験した時代でした。香川の人びとの暮らしと、それを取り巻くまちの変化に焦点を当て、収蔵資料を中心に、香川における昭和時代を振り返ります。



うちわ絵(軍人と家族)

アート・コレクション 夜をたのしむ

Art Collection Enjoying Night Views

9/5(金) ▶ 10/19(日)

夜をテーマにした作品には独特の心地よい静けさがあります。夜に活動する代表的な動物、ふくろうが登場する作品も見どころのひとつ。絵画、彫刻、工芸とさまざまなジャンルから、夜に関連する作品をお楽しみください。



大西忠夫「待宵」

アート・コレクション 現代書・美の競演

Art Collection The Beauty of Contemporary Calligraphy

2026.2/21(土) ▶

ユネスコ無形文化遺産の提案候補に選ばれた「書道」。筆、墨、紙、硯などを用いて漢字やかななどの文字を表し、文字の種類も、古の名筆にならう伝統の書から、大胆に気持ちを託す前衛の書までさまざまです。当館が収蔵する現代の書家が表現した書をご覧ください。



中原一羅「舞楽遊原」

歴史展示室

かがわ今昔 -香川の歴史と文化-

Kagawa Past and Present-History and Culture of Kagawa

原始時代から現代まで約2万年間の香川の歴史について、時代順にコーナーを展開し、わかりやすく紹介。大型の展示物や映像で、それぞれの時代の雰囲気も感じやすくなっています。



聖穴住居

ミュージアム年間カレンダー 2025.4 ▶ 2026.3

Museum Yearly Calendar 休館日 Closure 夜間開館 Open at night

Calendar for 2025 (April to October) showing museum closure and night opening days.

Calendar for 2025 (November to January) showing museum closure and night opening days.

Calendar for 2026 (February to April) showing museum closure and night opening days.

Calendar for 2026 (May to July) showing museum closure and night opening days.

Calendar for 2026 (August to October) showing museum closure and night opening days.

Calendar for 2026 (November to March) showing museum closure and night opening days.

*ミュージアム(本館)の開館・休館日を表記しています。